年間授業計画　様式例

高等学校　令和８年度（２学年用）　教科　　国語　　科目　現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　組～　　組

教科担当者：（　A組：　　）　（　C組：　　）　（　D組：　　）　（　E組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）

使用教科書：（ 増補新版　現代の国語（数研出版）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】実社会において役立つ語句や語彙を増やし用法や表記を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活の中での伝え合う力を高め、素行力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】ことばを通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	粘り強くテキストに向かう姿勢を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
	「コミュニケーション能力とは何か」 ・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・文章中の抽象的な表現について説明する。 ・本文と別の文章とをあわせて読み、筆者の言う「知性的な人」について説明する。	・難読漢字および語句の意味の確認 ・音読 ・内容読解 ・関連する具体的項目についてプロジェクター等で掲示			○	【知識・技能】 修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 【思考・判断・表現】 内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者が論じている内容を粘り強く読み解いて、その要点を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	8
	「水の東西」 ・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・日本と西洋の「水」に対するとらえ方の違いを整理する。 ・「水」の他に、日本と西洋とで感じ方や考え方の違いを感じさせるものをあげ、その違いをまとめる。	・難読漢字および語句の意味の確認 ・音読 ・内容読解 ・関連する具体的項目についてプロジェクター等で掲示			○	【知識・技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対比関係など積極的に捉えようとする。	○	○	○	8
2学期	「政治的思考」 ・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・「政治的思考」にとって大切なこと、「政治的思考」においてとるべきでない態度について説明する。 ・本文の内容とチャーチルの言葉を踏まえて、「独裁体制」と比較しながら「民主政治」の特徴を説明する。	・難読漢字および語句の意味の確認 ・音読 ・内容読解 ・関連する具体的項目についてプロジェクター等で掲示		○	○	【知識・技能】 実社会において必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	12
	実用の文章２/資料を分析して考えをまとめる ・防災白書の一部を読み取り、防災のための身近な取り組みや課題について考える。 ・グラフから情報を読み取りまとめる。	・資料の特徴の把握・分析の確認 ・内容をまとめさせる	○	○		【知識・技能】 推論の仕方を理解し使っている。 【思考・判断・表現】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料を踏まえて積極的に身近な例を考え、学習課題に沿って具体的にまとめようとしている。	○	○	○	5
	「ポスト・プライバシー」 ・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・文章中の抽象的な表現について説明する。 ・筆者の主張を、本文全体を踏まえて具体的に説明する。 ・グラフ資料と本文を関連づけて考察し、自分の考えをまえとめる。	・難読漢字および語句の意味の確認 ・音読 ・内容読解 ・関連する具体的項目についてプロジェクター等で掲示	○	○	○	【知識・技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 論理的な文章と複数の資料を積極的に読み比べることで実社会に関する考察を深め、学習課題に沿ってわかりやすく説明しようとしている。	○	○	○	14
3学期	「他者を理解するということ」 ・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・文章中の抽象的な表現について説明する。 ・筆者の主張が述べられた部分について、指示語の内容を明示しながら説明する。	・難読漢字および語句の意味の確認 ・音読 ・内容読解 ・関連する具体的項目についてプロジェクター等で掲示			○	【知識・技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	○	○	○	9
	「事実なのか考えなのか」 ・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・本文を踏まえて「事実」「推測」「意見」の定義を確認する。 ・新聞の記事について、読み手に逆の印象を与えるように表現を工夫して書く。	・難読漢字および語句の意味の確認 ・音読 ・内容読解 ・関連する具体的項目についてプロジェクター等で掲示	○	○	○	【知識・技能】 修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている 【主体的に学習に取り組む態度】 読み手を意識した構成・展開を積極的に考え、学習課題に沿って条件に即した文章をまとめようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		5
										70